

区分	施策の事業展開							3-2-2	
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備考	
施策及び事務事業の体系	水質検査業務（上水道課）							B 継続	
	他事業関連等配水管改良事業（上水道課）							B 継続	
	第5次配水管改良事業	第6次配水管改良事業（上水道課）					第7次配水管改良事業	B 継続 H18～H22第6次	
	配水管新設事業（上水道課）								
	出水不良解消配水管改良事業（上水道課）								
	配水管改良工事に伴う給水管取替事業（上水道課）							B 継続	
	水道事業統合に伴う施設整備事業（上水道課）								
	送配水施設改良事業（上水道課）							A 継続	
	水運用監視制御及び施設維持管理業務（上水道課）							B 継続	
	漏水防止業務（上水道課）							A 継続	
	災害時に強い施設の整備	飲料水供給拠点確保事業（上水道課）						A 休止	
	簡易水道の整備と適正管理	簡易水道施設安全管理事業（環境保全課）							B 継続
		奈川簡易水道施設整備事業（奈川支所建設農林課）							
	総合評価	評価ランク	評価理由		今後の方向性			市民委員会施策提言	
		<p>今や水道は市民生活に欠くことのできないものとなっており、市民満足度調査でも水道の整備が行き届いていると思う人や、安全な水が利用できると思う人の割合は非常に高い。</p> <p>安全で安心な水の安定供給を行うため、日々の水質検査や老朽化した施設の改修、更新を計画的、効率的に実施するとともに適正な維持管理に努めている。</p> <p>災害に強い水道を目指し旧松本地区で進めてきた飲料水供給拠点の整備も完了し、災害時の迅速な給水が可能となった。</p>		<p>今後も安全で安心な水の安定供給を行うため、日々の水質管理はもとより適正な維持管理に努め、各事務事業とも連携を図り施策の推進を図る。また、合併地区における水の供給体制の早期整備を進める。</p> <p>災害に強い水道施設の整備をいっそう進めるため、計画的に施設の耐震性を調査するとともに老朽化した施設の改修、更新時には耐震化を図っていく。</p> <p>今後は危機管理の面からも水道施設の整備はもとより、完成した施設が有効に使用できるようソフト面の整備強化を図る。</p>			<p>災害発生時に十分で安全な水が確保できるように、危機管理体制を確立してください。</p> <p>災害時に速やかに上下水道機能が回復できるように、埋設上水道の復旧に尽力するだけでなく仮設管を路上に配置するなどの危機管理対応が災害発生時に速やかにできるような対策をたててください。</p> <p>また有事発生時の水の確保は十分とはいえないことから、源水確保をさらに拡大すると共に、地域住民の所有する既存井戸の保存に努め、衛生管理の徹底を図り、有事に備えてください。さらに、深井戸、沢水等に頼った水供給が、地震等の災害時におけるがけ崩れ、地盤構造の変動に伴い阻害される事態をも想定して、水利権の問題があるにしても、緊急事態への対応として河川からも供給できる手段を検討してください。</p> <p>「省水」（節水）対策を進め、水質の安全確保のために市民意識の向上をめざすとともに、経費節減に努め、市民負担の軽減につなげてください。</p>		

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		水質検査業務				1					
1 概要 (PLAN)	事業期間	年度 ~ 平成 年度		担当 部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000				
	第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算 科目	記入者	久保田	電話	3073			
		2	日常の生活が安心できるまちをつくる		会計	水道事業会計					
		2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		款・項	水道事業費用 営業費用					
	事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)						
	事業内容・計画	内容			基礎となる計画						
		水質検査には、法令に基づく検査と自主検査があり、水質検査計画を策定し検査項目、頻度等を定めて行っています。 1 法令に基づく検査 ・検査項目(50項目) ・検査頻度(月1回11項目、年1回15項目、年4回24項目) 2 自主検査 原水検査 ・検査項目(50項目) ・検査頻度(月1回11項目、年1回39項目) 水質管理目標設定項目検査 ・検査項目(16項目) ・検査頻度(月1回5項目、年1回4項目、年4回7項目)									
		市民要望(ニーズ)等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
		飲料水に対する市民意識が高揚し、より安全で安心できる水道水の安定供給が求められています。					水道法				
	成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値			
	水質基準不適合率		%	(水質基準不適合回数 / 全検査回数) × 100			0.0				
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		総事業費	万円	6,178.0	2,967.0	2,992.0	4,473.0		必要性	AA	AA
		事業費	万円	3,694.0	495.0	559.0	2,040.0		有効性	A	B
		国・県補助金	万円						効率性	A	B
		市(一般)	万円	3,694.0	495.0	559.0	2,040.0		公平性	B	B
		市(起債)	万円						優先性	B	B
		その他()	万円						総合評価	A	B
		減価償却費	万円						市民に安心、安全な水道水を供給するため、水質基準に適合しているか日々検査をしています。		
		人件費	万円	2,484.0	2,472.0	2,433.0	2,433.0				
		正規職員	人	3.00	3.00	3.00	3.00				
	嘱託職員	人									
	臨時職員	人									
	合計	人	3.00	3.00	3.00	3.00					
	事業費に対する収入等の割合	%									
	コスト	検査回数	回	6,591	6,591	6,591	6,318	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
単位当たりコスト		円	9,373	4,502	4,540	7,080	拡大		委託化		
市民一人当たりコスト		円	296	130	131	196	継続		市民参加		
指標	水質基準不適合率	%	0.0	0.0	0.0	H18目標達成率	縮小	事業主体の見直し			
	対前年度伸び率	%		-	-	達成	廃止	手続きの見直し			
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率	休止	業務の見直し			
市民協働	今後も安全な水道水を安心して飲んでいただくため水質検査を継続して実施。										
備考											

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	他事業関連等配水管改良事業	2
-------	---------------	---

事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	担当部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000
		記入者	新井	電話	3043
第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算科目	会計	水道事業会計
	2	日常生活が安心できるまちをつくる		款・項	資本的支出・建設改良費
	2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		大業	改良費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
		道路改良工事等の他事業に関連し、布設替えをする上水道の送水管・配水管	他事業関連に伴い、水道管の布設替えを実施し、地震被害等の防止・漏水の防止・水圧の確保を行うとともに安全・安心で使いやすい水道施設を構築する。		
	事業内容・計画	内 容	基礎となる計画		
		道路改良工事にともない、歩道等への送・配水管の布設替えを行い、配水管理及び維持管理の効率化と水道水の安定供給を図る。			
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等		
	安全・安心な水道水の安定供給				
成果指標活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等		H22目標値
	上水道送・配水管布設替延長	km	中期財政計画布設替延長(H18~H23) L=17.7km		16.6

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	6,422.5	20,070.8	24,020.8	18,798.8	必要性	A	B	
	事業費	万円	4,713.5	15,871.3	19,886.0	14,664.0				
	(内訳)									
	国・県補助金	万円								
	市(一般)	万円	2,955.0	10,966.9	11,609.7	5,480.0				
	市(起債)	万円								
	その他(補償費)	万円	1,758.5	4,904.4	8,276.3	9,184.0	有効性	A	B	
	減価償却費	万円					効率性	A	B	
	人件費	万円	1,709.0	4,199.5	4,134.8	4,134.8	公平性	B	B	
	(職員数)							優先性	B	B
正規職員	人	2.00	5.00	5.00	5.00	総合評価	A	B		
嘱託職員	人	0.20	0.30	0.30	0.30					
臨時職員	人									
合計	人	2.20	5.30	5.30	5.30					
事業費に対する収入等の割合	%	37.3	30.9	41.6	62.6	水道管の布設替えにより、耐震化、漏水の防止、安定した水圧の確保等十分な効果が上がっている。 歩道等への布設替えにより、維持管理等にともなう交通規制等市民への影響が軽減される。				
コスト	布設替延長	m	995	6,268	7,568	4,805	展開の方向		展開の手段	
	単位当たりコスト	円	64,580	32,021	31,741	39,123	拡大		委託化	
	市民一人当たりコスト	円	308	879	1,052	823	継続		市民参加	
指標	上水道送・配水管布設替延長	km			7.57	H18目標達成率	縮小		事業主体の見直し	
	対前年度伸び率	%		-	-	45.6%	廃止		手続きの見直し	
	対前年度伸び率	%		-	-		休止		業務の見直し	
						統合		規模の見直し		
市民協働	他事業に関連して発生する布設替えであるため、関係課と連携を図り、計画的に継続実施。									
備考										

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	第6次配水管改良事業	3
-------	------------	---

1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	担当部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000	
			記入者	新井	電話	3043	
	第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算科目	会計	水道事業会計	
		2	日常の生活が安心できるまちをつくる		款・項	資本的支出・建設改良費	
		2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		大業	改良事業費・補助改良事業費	
	事業の目的	対象(誰を・何を) 老朽化した、上水道送・配水管		意図(どういう状態にしたいのか) 老朽化した送・配水管を計画的に布設替えを実施し、地震被害等の防止・漏水の防止・水圧の確保・安心で使いやすい水道施設を構築する。			
	事業内容・計画	内 容			基礎となる計画		
		第6次配水管改良事業(H18~H22)の年次計画に基づき、老朽铸铁管(75mm~450mm)9.3kmを更新する。					
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業	根拠法令等		
		安全・安心な水道水の安定供給					
成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値	
	上水道送・配水管改良延長		km	計画改良延長(H18~H22) L=9.3km		9.3	

2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		H19年度	必要性	A
	(内 訳)	総事業費	万円			18,340.1	20,178.8	有効性	A	B
		事業費	万円			15,016.3	16,855.0	効率性	A	B
		国・県補助金	万円			2,000.0	1,900.0	公平性	B	B
		市(一般)	万円			4,596.3	6,585.0	優先性	A	B
		市(起債)	万円			8,420.0	8,370.0	総合評価	A	B
		その他()	万円							
	(職員数)	減価償却費	万円					老朽化した送・配水管の取替えにより、耐震化、漏水の防止、安定した水圧の確保と赤水など濁り水発生低減化等十分な効果が上がっている。		
		人件費	万円			3,323.8	3,323.8			
		正規職員	人			4.00	4.00			
		嘱託職員	人			0.30	0.30			
		合計	人			4.30	4.30	展開の方向		
	コスト	事業費に対する収入等の割合	%					展開の手段		
		改良延長	m			1,828	1,803	拡大		委託化
単位当たりコスト		円			100,329	111,918	継続		市民参加	
指標	市民一人当たりコスト	円			803	883	縮小		事業主体の見直し	
	上水道送・配水管改良延長	km			1.83	H18目標達成率	廃止		手続きの見直し	
	対前年度伸び率	%			-	-	19.7%	休止		業務の見直し
	対前年度伸び率	%			-	-			規模の見直し	
							4 展開 (ACTION)			
市民協働	安全で安心な水道水を安定供給するため改良は計画的に行うとともに、老朽管の改良場所はガス工事等と調整を図り、共同施工等により経費を節減。									
備考										

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	配水管改良事業に伴う給水管取替事業		4
-------	-------------------	--	---

担当部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000
記入者	新井	電話	3043

事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	予算科目	会計 水道事業会計 款・項 水道事業費用・営業費用 大業 漏水防止費
第8次基本計画の位置付け	3 安全で安心してゆとりをもって暮らすまち 2 日常の生活が安心できるまちをつくる 2 いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象 (誰を・何を) 配水管改良に伴い、取替えをする給水管	意図 (どのような状態にしたいのか) 配水管改良に伴い、老朽化した給水管の取替えを実施し、地震被害等の防止・漏水の防止・水圧の確保を行うとともに安全・安心で使いやすい水道施設を構築する。
	事業内容・計画	内 容 各種配水管改良事業の改良計画に基づき実施する配水管の布設替えにあわせ、老朽化した給水管の取替えを行う。	基礎となる計画

	市民要望 (ニーズ) 等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
	安全・安心な水道水の安定供給		

成果指標活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	配水管改良に伴う、給水管取替えカ所	カ所	中期財政計画取替えカ所 (H18~H23) 3,249カ所	2,822

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
(内訳)	総事業費	万円	6,003.0	10,457.6	13,093.6	13,974.1	老朽化した給水管の取替えにより、耐震化、漏水の防止、安定した水圧の確保等十分な効果が上がっている。	必要性	A	A
	事業費	万円	4,734.5	8,371.1	10,228.5	11,109.0		有効性	A	B
	国・県補助金	万円						効率性	A	A
	市 (一般)	万円	3,633.2	5,375.5	7,818.7	8,489.0		公平性	B	B
	市 (起債)	万円						優先性	A	B
	その他 (補償費)	万円	1,101.3	2,995.6	2,409.8	2,620.0		総合評価	A	B
	減価償却費	万円								
	人件費	万円	1,268.5	2,086.5	2,865.1	2,865.1				
	正規職員	人	1.50	2.50	3.50	3.50				
	嘱託職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10				
臨時職員	人									
合計	人	1.60	2.60	3.60	3.60					
	事業費に対する収入等の割合	%	23.3	35.8	23.6	23.6				

4 展開 (ACTION)	コスト	給水管取替カ所	カ所	266	440	584	628	展開の方向	展開の手段
		単位当たりコスト	円	225,677	237,673	224,205	222,518	拡大	委託化
	市民一人当たりコスト	円	288	458	573	612	継続	市民参加	
	指標	配水管改良に伴う、給水管取替カ所	カ所			584	H18目標達成率	縮小	事業主体の見直し
		対前年度伸び率	%		-	-	20.7%	廃止	手続きの見直し
	対前年度伸び率	%		-	-		休止	業務の見直し	
							統合	規模の見直し	

市民協働	
備考	給水管の取替えは、配水管改良計画に基づき実施する配水管の布設替えにあわせて行うため今後も継続。

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		飲料水供給拠点確保事業				5					
		担当 部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000						
		記入者	畔上	電話	3049						
第8次基本 計画の位置 付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算 科目	会計	水道事業会計						
	2	日常の生活が安心できるまちをつくる		款・項	資本的支出	建設改良費					
	2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		大業	改良費						
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)						
	非常時の飲料水を確保するための、非常用発電機、給水ポンプ等給水器具		飲料水供給拠点に非常用発電機や給水ポンプ等の給水器具を設置し、被災者に飲料水の供給ができるようにする。								
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画						
	松本地区を対象に17箇所の飲料水供給拠点を整備する。 (1)給水拠点 茶臼山配水地・妙義配水地・藤井配水地・上手配水地・並柳第1配水地・並柳第2配水地・松原配水地・寿配水地・城山配水地・蟻ヶ崎配水地・大久保配水地・神林配水地・今井第2配水地・島内第1水源地・小宮水源地・並柳水源地・芳川第1水源地 (2)設置器具 非常用発電機・給水ポンプ・投光器及び格納庫		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
成果指標 活動指標		指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値				
		給水拠点整備率		%	整備計画数 / 整備数 × 100		100.0				
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	項目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	8,438.0	8,074.0	792.2	994.4		必要性	AA	AA
		事業費	万円	7,610.0	7,250.0	630.0	670.0		有効性	A	A
		国・県補助金	万円						効率性	A	B
		市(一般)	万円	7,610.0	7,250.0	630.0	670.0		公平性	A	A
		市(起債)	万円						優先性	A	A
		その他()	万円						総合評価	A	A
		減価償却費	万円						非常時に迅速に飲料水の供給をする 必要があり、施設整備を実施した。		
		人件費	万円	828.0	824.0	162.2	324.4				
	正規職員	人	1.00	1.00	0.20	0.40					
	嘱託職員	人									
	臨時職員	人									
	合計	人	1.00	1.00	0.20	0.40					
	事業費に対する収入等の割合	%									
コスト	整備力所	力所	8	6	1	2	4 展 開 (ACTION)	展開の方向		展開の手段	
	単位当たりコスト	円	10,547,500	13,456,667	7,922,000	4,972,000		拡大		委託化	
	市民一人当たりコスト	円	405	354	35	44		継続		市民参加	
指標	給水拠点整備率	%	47	82	88	H18目標達成率	縮小		事業主体の見直し		
	対前年度伸び率	%		174.5	107.3	88.0%	廃止		手続きの見直し		
	対前年度伸び率	%		-	-	-	休止		業務の見直し		
市民協働											
備考		旧松本市内では非常時における必要最低限の飲料水を供給する拠点が、概ね2.5km以内に1カ所ずつ確保されたため休止とする。合併地区での確保を検討。									

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		送配水施設改良事業				6					
事業期間		平成	年度	~	平成	年度					
担当		上下水道局 上水道課		課コード	114000						
記入者		畔上		電話	3049						
第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち				予算科目	会計	水道事業会計			
	2	日常の生活が安心できるまちをつくる					款・項	資本的支出	建設改良費		
	2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす					大業	改良費			
1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)						
	事業内容・計画	配水池等の構造物やポンプ等の機械・電気設備			老朽化や機能低下等で生じる供給停止事故を未然に防ぎ、常に安定的な水供給に努める。						
2 事業執行 (DO)	事業内容・計画	内 容			基礎となる計画						
		配水池等の構造物及びポンプ等の機械・電気設備を計画的に取替・更新を行う。 施設総数153施設 ・水源地関係6施設 ・配水地関係45ヶ所 ・加圧所関係45施設 ・監視制御関係1施設 ・流量調整所関係42施設 ・受託関係14施設									
		市民要望(ニーズ)等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
		安全で安定的な水道水の供給									
成果指標活動指標	指標名称			単位	指標の計算式等			H22目標値			
	設備故障件数			件	設備故障件数			前年度以下			
2 事業執行 (DO)	事業費	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	13,742.0	13,326.0	14,332.0	19,012.0		必要性	AA	A
		事業費	万円	12,086.0	11,678.0	12,710.0	17,390.0		有効性	A	A
		(内訳)							効率性	A	B
		国・県補助金	万円						公平性	B	B
		市(一般)	万円	12,086.0	11,678.0	12,710.0	17,390.0		優先性	A	A
		市(起債)	万円						総合評価	A	A
		その他()	万円						効率的・計画的な設備更新の実施と設備の保全体制の強化により、設備故障に起因する供給停止の事故は発生していない。		
		減価償却費	万円						展開の方向		
		人件費	万円	1,656.0	1,648.0	1,622.0	1,622.0		展開の手段		
		(職員数)							拡大		委託化
		正規職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00		継続		市民参加
		嘱託職員	人						縮小		事業主体の見直し
		臨時職員	人						廃止		手続きの見直し
合計	人	2.00	2.00	2.00	2.00	休止		業務の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					統合		規模の見直し			
コスト	施設改修件数	件	36	47	41	13	4 展開 (ACTION)				
	単位当たりコスト	円	3,817,222	2,835,319	3,495,610	14,624,615					
	市民一人当たりコスト	円	659	584	627	832					
指標	設備故障件数	件	32	44	31	H18目標達成率	安全で安心な水道水の安定供給のため、今後も効率的・計画的な設備更新を継続。				
	対前年度伸び率	%		137.5	70.5	達成					
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率					
市民協働											
備考											

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	水運用監視制御及び施設維持管理業務	7
-------	-------------------	---

事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 年度	担当部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000
		記入者	畔上	電話	3049

第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算科目	会計	水道事業会計
	2	日常の生活が安心できるまちをつくる		款・項	水道事業費 営業費用
	2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		大業	送水費

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	上下水道局職員が実施していた浄水場や水源地・配水地等の運転管理と水道施設の保安全管理業務	安全で安定的な水道水の供給を基本に、民間活力の導入による水道施設の運転及び保安全管理業務の経費節減を図る。併せて、合併した四賀・梓川地区の水道施設の巡視・点検等の保全体制も強化する。

事業内容・計画	内 容		基礎となる計画
	松本、四賀及び梓川地区の水道施設の運転及び施設保安全管理業務		
	市民要望（ニーズ）等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
	安全で安定的な水道水の供給		

成果指標活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	経費節減額	万円	H12年度人件費 - (各年度委託料 + 各年度人件費)	1,500

項 目	単位	実 績			見 込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H19年度				
総事業費	万円	10,008.6	10,005.8	9,996.7	15,157.6	民間業者の専門性が発揮され、きめ細かな保安全管理と運転管理が確保された。 平成19年度から合併した四賀・梓川の水道施設も委託対象に加え、施設の保全体制の強化を進めている。	必要性	A	A	
事業費	万円	9,429.0	9,429.0	9,429.0	13,860.0		有効性	A	B	
(内訳)							効率性	A	B	
国・県補助金	万円						公平性	B	B	
市（一般）	万円	9,429.0	9,429.0	9,429.0	13,860.0		優先性	B	B	
市（起債）	万円						総合評価	A	B	
その他（ ）	万円					4 展開 (ACTION)	展開の方向		展開の手段	
減価償却費	万円						拡大		委託化	
人件費	万円	579.6	576.8	567.7	1,297.6		継続		市民参加	
(職員数)							縮小		事業主体の見直し	
正規職員	人	0.70	0.70	0.70	1.60		廃止		手続きの見直し	
嘱託職員	人						休止		業務の見直し	
臨時職員	人						統合		規模の見直し	
合計	人	0.70	0.70	0.70	1.60		安全で安定的な水道水の供給を行うため、民間活力の導入による効率的かつ経済性が発揮できるため今後も継続。			
事業費に対する収入等の割合	%									
コスト										
単位当たりコスト	円									
市民一人当たりコスト	円	480	438	438	664					
指標	経費節減額	万円	1,335	1,359	1,437	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		101.8	105.7	95.8%				
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率				
市民協働										
備考										

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	漏水防止業務	8
-------	--------	---

事業期間	年度 ~ 平成 年度	担当部課	上下水道局 上水道課	課コード	114000
第8次基本計画の位置付け	3 安全で安心してゆとりをもって暮らすまち 2 日常の生活が安心できるまちをつくる 2 いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす	記入者	石田	電話	3054
		予算科目	会計 水道事業会計 款・項 水道事業費用 営業費用 大業 配水費 漏水防止費		

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)	
		漏水が発生している水道管	漏水個所の早期発見と早期修理を行う。	
	事業内容・計画	内 容	基礎となる計画	
		漏水調査委託による早期発見 発見された漏水個所の早期修理		
	市民要望 (ニーズ) 等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等	
	安全で安定的な水道水の供給			
成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	有効率	%	有効水量 (有効に使われた水量) / 配水量 × 100	91.50
	漏水個所	個所		

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価			
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度							
事業費	総事業費	万円	5,753.6	6,495.2	5,385.5	6,078.8	必要性	AA	A				
	事業費	万円	3,104.0	2,952.0	2,547.0	2,997.0				有効性	A	B	
	(内訳)	国・県補助金	万円								効率性	A	A
		市 (一般)	万円	3,104.0	2,952.0	2,547.0				2,997.0	公平性	B	B
		市 (起債)	万円								優先性	A	A
		その他 ()	万円								総合評価	A	A
	減価償却費	万円					漏水の早期発見、早期修理は水道水の有効利用と経費削減になると同時に、陥没事故等による二次災害の防止にも効果があります。						
	人件費	万円	2,649.6	3,543.2	2,838.5	3,081.8							
	(職員数)	正規職員	人	3.20	4.30	3.50				3.80			
		嘱託職員	人										
臨時職員		人											
合計	人	3.20	4.30	3.50	3.80								
事業費に対する収入等の割合	%					4 展開 (ACTION)							
コスト	漏水発見個所	個所	305	313	354	展開の方向		展開の手段					
	単位当たりコスト	円	188,643	207,514	152,133	拡大		委託化					
	市民一人当たりコスト	円	276	284	236	継続		市民参加					
指標	有効率	%	90.59	91.34	90.10	縮小		事業主体の見直し					
	対前年度伸び率	%		100.8	98.6	廃止		手続きの見直し					
	漏水個所	個所	305	313	354	休止		業務の見直し					
	対前年度伸び率	%		102.6	113.1	統合		規模の見直し					
市民協働	有効率の向上を図り安全な水道水を安定的に供給するため、漏水調査や修理を実施。 調査対象地域の内容により、調査頻度に差をつけ市内をくまなく調査。												
備考													

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	簡易水道施設安全管理事業	9
-------	--------------	---

事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	担当部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500
		記入者	中野	電話	1421

第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算科目	会計	簡易水道事業特別会計
	2	日常生活が安心できるまちをつくる		款・項	入山辺・四賀・安曇・奈川簡易水道管理費
	2	いつでもどこでも安全でおいしい水の安定供給をめざす		大業	一般管理費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		簡易水道給水区域内の住民	給水区域内住民の健康福祉を増進するため、安全で良質な水を安定的に供給するとともに、効率的な管理運営に努めます。

2 事業内容・計画	内 容		基礎となる計画	
	入山辺地区の一部、四賀地区(穴沢、細原、西北山)、安曇地区、奈川地区に公営の簡易水道を整備し、安全な飲料水を安定的に供給するとともに、維持管理及び料金徴収業務の一部を上下水道局に事務委任し適正な管理運営に努めています。水源については、入山辺地区及び四賀地区は浄水を松本市上下水道局から全量受水しており安曇地区及び奈川地区は表流水等を取水しています。			
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等	
	安全で良質な飲料水を安定的に供給することが求められています。		水道法	

成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等	H22目標値
	水質		件	水質検査による基準値外の発生件数	0.0
	疫病等		件	飲料水を原因とする疫病等の発生件数	0.0

項 目	単位	実 績			見 込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H19年度				
総事業費	万円		36,016.0	34,567.0	35,304.0	安全で良質な飲料水を安定的に供給するために必要な事業です。	必要性	AA	B	
事業費	万円		34,714.1	33,285.6	34,022.6		有効性	A	A	
(内訳)							効率性	A	B	
国・県補助金	万円		1,285.0	211.0	476.0		公平性	A	B	
市(一般)	万円		33,429.1	32,914.6	32,536.6		優先性	A	B	
市(起債)	万円			160.0	1,010.0		総合評価	A	B	
その他()	万円									
減価償却費	万円									
人件費	万円		1,301.9	1,281.4	1,281.4					
(職員数)										
正規職員	人		1.58	1.58	1.58					
嘱託職員	人									
臨時職員	人									
合計	人		1.58	1.58	1.58					
事業費に対する収入等の割合	%									
コスト	対象者数	人		3,737	3,648	3,600	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
	単位当たりコスト	円		96,377	94,756	98,067		拡大		委託化
	市民一人当たりコスト	円		1,577	1,513	1,546		継続		市民参加
						縮小			事業主体の見直し	
指標	水質	件		0	0	H18目標達成率	廃止		手続きの見直し	
	対前年度伸び率	%		-	-	達成	休止		業務の見直し	
	疫病等	件		0.0	0.0	H18目標達成率	統合		規模の見直し	
市民協働								今後も安全な飲料水を安定的に供給するとともに、適正な維持管理を実施。		
備考										

区分	施策の事業展開							3-3-2	
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備考	
計画や条例の制定	都市景観形成基本計画の推進							A 継続	
		都市景観計画の策定	都市景観計画の推進(計画課)						
	都市景観条例	都市景観条例の改正	都市景観条例の推進(計画課)						
		県条例委任による屋外広告物事務						A 継続	
		屋外広告物条例の策定		屋外広告物条例による広告物の指導等					
		住宅マスタープラン	住宅マスタープラン見直し	住宅マスタープランに基づくまちづくり					
		ライトアップ基本計画の推進							
	各種啓発指導	建築物・広告物等デザインマニュアルによる指導							
		大規模建築物等デザインマニュアルによる指導							
		緑のデザインマニュアルによる指導							
松本市都市景観賞の実施(計画課)									
まちづくり事業	お城下町まちづくり事業(まちづくり推進課)							B 継続	
	お城東町まちづくり事業(まちづくり推進課)							B 継続	
	中央東まちづくり事業(まちづくり推進課)							B 継続	
	まちなみ修景事業(まちづくり推進課)							B 継続	
		水めぐりの井戸整備事業(まちづくり推進課)						B 継続	
		地区別景観整備事業							
花や緑、公園の整備	都市公園再整備事業(公園緑地課)								
	松本城公園管理(松本城管理事務所)								
				松本城公園 用地取得(公園緑地課)					
総合評価	評価ランク	評価理由		今後の方向性			市民委員会施策提言		
		<p>中心市街地においては、中町蔵のあるまちづくり、お城下町まちづくり等、まちづくり協定を締結し、歴史・文化・自然を活かした個性あるまちづくりにより、目に見えて改善されてきており、松本らしい街並形成ができてきている。</p> <p>また、花づくりによる景観形成、違法広告物の撤去等、市民協働による景観形成が進んでいる。</p> <p>ただし、上記の地域以外では、高層建築物が近年急増し、また大型看板等景観阻害要因により、街並みの調和が崩れているのが現状である。</p>		<p>新たな景観計画策定や景観条例の改正、屋外広告物条例の制定を市民会議・ワークショップ等により市民意見を反映する中で進め、松本らしい景観形成の誘導を図っていく。</p> <p>地域の景観や住環境に大きい影響を与える建築物の高さや色・形等については、手法を検討し、良好な住環境や秩序ある都市環境の維持・保全に努めていく。</p> <p>地域におけるまちづくりの推進は、住民との協働により推進し地域の発展に寄与していく。</p>			<p>景観政策は、市民の快適な生活環境、観光・商工業の振興、街の活性化に欠かせない重要な課題です。</p> <p>松本城南側は高層マンション等の乱立で「松本らしくない」景観が形成されつつあります。景観に関しては「松本らしさを守る」立場で市主導の積極策を希望します。</p> <p>同時に、この状況は行政だけでなく、市民の関心の薄さ・受動的態度にも責任があると考えます。市民も真剣に自らの景観意識を高める必要があり、行政も啓発活動の推進をお願いします。</p> <p>私権(財産権など)と景観権の衝突に多くの人が是とする妥協点を見出すには、「公共の福祉による私権の制限(補償が可能)」といった類の、より踏み込んだ議論が必要であると考えます。</p>		

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	景観計画策定及び景観条例改正	1
-------	----------------	---

事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 20 年度	担当 部課	建設部 計画課	課コード	081000
		記入者	中川	電話	1913

第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算 科目	会計	一般会計
	3	ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる		款・項	土木費
	2	自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす		大業	都市景観形成事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		景観法の施行及び景観行政団体への移行により、法に基づく景観計画及び景観条例の改正を行うもの	法に基づく景観計画及び景観条例の改正により、これまで以上に実効性があり拘束力を持った景観誘導を図るもの

2 事業内容・計画	内 容		基礎となる計画
	合併地区も含め、市内全域を景観計画区域と定め、現行の「景観形成基本計画」及び「景観条例」の基本理念、方針を継承し、市民会議やワークショップ等により市民意見を反映しながら、各地域の特性をふまえた方針・目標を定める		
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
	国が景観法を施行し、県が条例の全面改正とそれぞれ動き出しており、市民の景観に対する関心も非常に高いものがあります	長野県景観条例・長野県景観計画	景観法

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	景観計画の策定(進捗率)	%	平成19年度まで	100.0
	景観条例の改正(進捗率)	%	平成19年度まで	100.0

2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		H19年度	必要性	AA	AA
	(内 訳)	総事業費	万円			1,309.0		2,311.0	有効性	AA	B
		事業費	万円			498.0		1,500.0	効率性	A	B
		国・県補助金	万円						公平性	A	B
		市(一般)	万円			498.0		1,500.0	優先性	AA	A
		市(起債)	万円						総合評価	AA	A
		その他()	万円						景観法の施行を受け、市民意識が高まっている景観について法に基づく計画と条例改正が必要		
	(職 員 数)	減価償却費	万円								
		人件費	万円			811.0		811.0			
		正規職員	人			1.00		1.00			
		嘱託職員	人								
		臨時職員	人								
		合計	人			1.00		1.00			
		事業費に対する収入等の割合	%								

4 展開 (ACTION)	コスト	展開の方向	展開の手段		
		拡大	委託化		
	継続	市民参加			
	縮小	事業主体の見直し			
	廃止	手続きの見直し			
	休止	業務の見直し			
指標	景観計画の策定(進捗率)	%		30.0	H18目標達成率
	対前年度伸び率	%		-	30.0%
	景観条例の改正(進捗率)	%		30.0	H18目標達成率
	対前年度伸び率	%		-	30.0%

市民協働	松本市景観基本計画策定市民会議や市民参加のワークショップ等を適宜実施し、条例に市民意見を反映させる。	市民会議・ワークショップ・パブリックコメント等により、市民の声を計画策定と条例改正に反映。
備考		

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		屋外広告物条例制定				2						
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 20 年度				担当部課	建設部 計画課	課コード	081000			
						記入者	齊木	電話	1913			
	第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち				予算科目	会計	一般会計			
		3	ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる					款・項	土木費			
	2	自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす				大事業	都市景観形成事業費					
2 事業執行 (DO)	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)						
		屋外広告物条例の制定				今まで自主条例だった景観条例を景観法の委任条例化していく中、屋外広告物条例についても独自の条例を制定して、双方の条例の連携により より良い景観形成を進める。						
	事業内容・計画	内 容				基礎となる計画						
		1 平成18年度より平成19年度にかけて 市内の屋外広告物の実態調査を行う。 2 規制の検討(庁内・関係機関との調整・市民からの意見募集・景観審議会) 3 条例制定(景観条例との調整・市民への広報・関係団体への周知・景観審議会)										
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等							
	種々雑多な広告物が街にあふれる中、景観行政団体として独自の条例制定が待たれている。		屋外広告物法改正・長野県屋外広告物条例改正		屋外広告物法、景観法							
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値					
	屋外広告物条例の制定(進捗率)		%	平成20年度まで			100.0					
	実態調査・検討		%	検討 / 実態調査箇所×100			100.0					
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単位	実 績			見 込		評価項目	第1次評価	第2次評価		
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度						
	(内 訳)	総 事 業 費	万円			1,697.0	3,285.0		必 要 性	AA	AA	
		事 業 費	事 業 費	万円			886.0	2,474.0		有 効 性	AA	B
			国・県補助金	万円						効 率 性	A	B
			市(一般)	万円			886.0	2,474.0		公 平 性	A	A
			市(起債)	万円						優 先 性	AA	A
			その他()	万円						総合評価	AA	A
	(職 員 数)	減価償却費	万円						景観行政団体への移行に伴い、市独自の条例制定により、景観に影響が大きい屋外広告物の規制を図る。			
	人 件 費	人 件 費	万円			811.0	811.0					
		正規職員	人			1.00	1.00					
		嘱託職員	人									
		臨時職員	人									
		合 計	人			1.00	1.00					
	事業費に対する収入等の割合	%										
コスト	単位当たりコスト	円						展開の方向				
	市民一人当たりコスト	円			74	144		展開の手段				
指標	屋外広告物条例の制定(進捗率)	%			20	H18目標達成率		拡大		委託化		
	対前年度伸び率	%			-	20.0%		継続		市民参加		
	実態調査・検討	%			26.0	H18目標達成率		縮小		事業主体の見直し		
	対前年度伸び率	%			-	26.0%		廃止		手続きの見直し		
市民協働	松本市景観基本計画策定市民会議や市民参加のワークショップ等を適宜実施し、条例に市民意見を反映させる。									休止		業務の見直し
備考										統合		規模の見直し
									市民会議・ワークショップ・パブリックコメント等により、市民の声を条例制定に反映。			

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	お城下町まちづくり事業	3
-------	-------------	---

事業期間	平成 5 年度 ~ 平成 20 年度	担当部課	建設部 まちづくり推進課	課コード	081600
		記入者	土屋	電話	3181

第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算科目	会計	一般会計
	3	ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる		款・項	土木費 都市計画費
	2	自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす		大事業	お城下町まちづくり事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		お城下町地区まちづくり協定が締結されている区域(約6.0ha)	住民参加により伝統建築物を残しながら、良好な市街地の形成と地区の特性を生かした個性あるまちづくりを進める。

2 事業内容・計画	内容	基礎となる計画
	明治、大正期から本市を代表する繁華街であった、上土、緑町、縄手通りの再活性化を図る。 国庫補助街なみ環境整備事業 街なみ環境整備方針に基づき、道路・通路、地区集会施設、及び小公園等の整備を行う。	街なみ環境整備事業
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業 根拠法令等
	お城下町まちづくり推進協議会の要望に基づき住民との協働でまちづくりを進める	

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	道路公園等の整備面積	%	整備面積 / 整備計画面積 × 100	100.0

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	2,600.1	33,906.1	39,905.1	37,350.9	3	必要性	A	A
	事業費	万円	1,755.0	33,065.0	39,077.0	36,270.0		有効性	A	A
	(内訳)							効率性	A	B
	国・県補助金	万円	720.0	16,380.0	19,380.0	17,950.0		公平性	B	B
	市(一般)	万円	535.0	4,485.0	5,197.0	4,920.0		優先性	A	B
	市(起債)	万円	500.0	12,200.0	14,500.0	13,400.0		総合評価	A	B
	その他()	万円					道路・小路及び小公園の整備を進めることで、安全で快適な環境を創出する。			
	減価償却費	万円					4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
	人件費	万円	845.1	841.1	828.1	1,080.9		拡大	委託化	
	(職員数)							継続	市民参加	
正規職員	人	1.00	1.00	1.00	1.30	縮小		事業主体の見直し		
嘱託職員	人				0.10	廃止	手続きの見直し			
臨時職員	人	0.10	0.10	0.10		休止	業務の見直し			
合計	人	1.10	1.10	1.10	1.40	統合	規模の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					当事業は、市街地の活性化と市民の住環境整備に有効な手法であり、住民参加によるまちづくりとしてH20年度の事業完了を目指して推進。				
コスト										
単位当たりコスト	円									
市民一人当たりコスト	円	125	1,485	1,747	1,635					
指標										
道路公園等の整備面積	%	51	55	63	H18目標達成率					
対前年度伸び率	%		106.9	114.7	62.5%					
対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率					
市民協働	事業計画段階と実施段階で地元の推進協議会とともにまちづくりを推進									
備考										

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		お城東まちづくり事業				4						
		担当 部課	建設部	まちづくり推進課	課コード	081600						
		記入者	土屋		電話	3181						
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 22 年度											
第8次基本 計画の位置 付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算 科目	会計	一般会計							
	3	ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる		款・項	土木費 都市計画費							
	2	自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす		大事業	お城東まちづくり事業費							
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)							
	お城東地区まちづくり協定が締結されている区域(約17.4ha)		住民参加により湧水を活かした小公園の整備や城下町特有の小路の整備により、良好な市街地の形成と地区の特性を生かした個性あるまちづくりを進める。									
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画							
	うら町通りを中心とした古くからの商人、職人の町として発展してきた地域の特性を生かし活性化を図る。 国庫補助街なみ環境整備事業 街なみ環境整備方針に基づき、道路・通路及び小公園等の整備を行う。		街なみ環境整備事業									
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
		お城東まちづくり推進協議会の要望に基づき住民との協働でまちづくりを進める										
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値						
	道路公園等の整備面積		%	整備面積 / 整備計画面積 × 100		100.0						
2 事業執行 (DO)	内 訳 (職 員 数)	総事業費	万円	2,507.4	1,413.0	5,676.3	5,134.5	3 評価・ 分析 (CHE CK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		事業費	万円	1,679.4	589.0	4,865.3	3,918.0		必要性	A	A	
		国・県補助金	万円	824.0	279.0	2,417.0	1,750.0		有効性	A	A	
		市(一般)	万円	245.4	110.0	638.3	858.0		効率性	A	B	
		市(起債)	万円	610.0	200.0	1,810.0	1,310.0		公平性	B	B	
		その他()	万円						優先性	A	B	
		減価償却費	万円						総合評価	A	B	
		人件費	万円	828.0	824.0	811.0	1,216.5		道路・小路及び小公園の整備を進めることで、安全で快適な環境を創出する。			
		正規職員	人	1.00	1.00	1.00	1.50					
		嘱託職員	人									
	臨時職員	人										
	合計	人	1.00	1.00	1.00	1.50						
	事業費に対する収入等の割合	%										
	コスト	単位当たりコスト	円					4 展開 (ACT ION)		展開の方向	展開の手段	
		市民一人当たりコスト	円	120	62	249	225	拡大		委託化		
指標	道路公園等の整備面積	%	25	25	33	H18目標達成率	継続	市民参加				
	対前年度伸び率	%		100.0	131.6	32.9%	縮小	事業主体の見直し				
	対前年度伸び率	%		-	-		廃止	手続きの見直し				
市民協働	事業計画段階と実施段階で地元の推進協議会とともにまちづくりを推進						休止	業務の見直し				
備考							統合	規模の見直し				
当事業は、市街地の活性化と市民の住環境整備に有効な手法であり、住民参加によるまちづくりとしてH22年度の事業完了を目指して推進。												

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	中央東まちづくり事業	5
-------	------------	---

担当部課	建設部 まちづくり推進課	課コード	081600
記入者	土屋	電話	3181

事業期間	平成 14 年度 ~ 平成 25 年度	予算科目	会計 一般会計 款・項 土木費 都市計画費 大事業 中央東地区まちづくり事業費
第8次基本計画の位置付け	3 安全で安心してゆとりをもって暮らすまち 3 ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる 2 自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす		

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を) 中央東地区まちづくり協定が締結されている区域(約8.5ha)	意図(どういう状態にしたいのか) 住民参加により湧水やせせらぎを活かした道路の整備や集会施設、小公園の整備により、良好な市街地の形成と地区の特性を生かした個性あるまちづくりを進める。
-------------	-------	---	--

2 事業内容・計画	内容	高砂通りを中心とした特化された商業環境と、豊かな水資源を生かした住環境を整備する。 国庫補助街なみ環境整備事業 街なみ環境整備方針に基づき、道路・通路、集会施設及び小公園等の整備を行う。	基礎となる計画 街なみ環境整備事業
	市民要望(ニーズ)等の状況	中央東高砂通り周辺地区まちづくり推進協議会の要望に基づき住民との協働でまちづくりを進める	国・県・民間等における類似事業 根拠法令等

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	道路公園等の整備面積	%	整備面積 / 整備計画面積 × 100	19.8

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	1,535.8	1,607.0	1,181.2	354.4	必要性 有効性 効率性 公平性 優先性 総合評価	A A A B A A	A B B B B	
	事業費	万円	707.8	783.0	370.2	30.0				
	(内訳)									
	国・県補助金	万円	338.0	376.0	170.0					
	市(一般)	万円	119.8	127.0	80.2	30.0				
	市(起債)	万円	250.0	280.0	120.0					
	その他()	万円								
	減価償却費	万円					道路・小路及び小公園の整備を進めることで、安全で快適な環境を創出する。			
	人件費	万円	828.0	824.0	811.0	324.4				
	(職員数)									
正規職員	人	1.00	1.00	1.00	0.40					
嘱託職員	人									
臨時職員	人									
合計	人	1.00	1.00	1.00	0.40					
事業費に対する収入等の割合	%					4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段		
コスト							拡大	委託化		
単位当たりコスト	円						継続	市民参加		
市民一人当たりコスト	円	74	70	52	16		縮小	事業主体の見直し		
指標							廃止	手続きの見直し		
道路公園等の整備面積	%	0.0	2.7	2.7	H18目標達成率		休止	業務の見直し		
対前年度伸び率	%			100.0	13.6%	統合	規模の見直し			
対前年度伸び率	%				H18目標達成率	当事業は、市街地の活性化と市民の住環境整備に有効な手法であり、住民参加によるまちづくりとして継続的なまちづくりを推進。				
市民協働	事業計画段階と実施段階で地元の推進協議会とともにまちづくりを推進									
備考										

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		まちなみ修景事業				6								
事業期間		平成 元 年度 ~ 平成 25 年度				担当部課	建設部 まちづくり推進課	課コード	081600					
事業の位置付け		3 安全で安心してゆとりをもって暮らすまち 3 ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる 2 自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす				記入者	土屋	電話	3181					
事業の目的		交付先 修景に係るまちづくり協定が締結されている区域（中町、本町、お城下町、中央東）において建物の修景をする者				補助金・負担金等の目的、効果 ファサードの修景により、各町の発展に伴う歴史、文化等に調和した街なみを形成し、市民や観光客の集客を狙う。また、地区としての協定を守っていくための土台としたい。								
事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準 建築物のファサード（正面周辺部）を、まちづくり協定に基づくデザインに改修する工事費に対して交付 改修工事費の2/3 上限300万円				交付先の具体的な活動内容 街なみ環境整備事業地区の店舗、住宅、若しくは店舗併用住宅								
成果指標活動指標		指標名称 整備割合 整備済件数				単位	指標の計算式等		H22目標値					
						%	修景済件数 / 予定修景件数		92					
						件	整備済件数		124.0					
市民要望（ニーズ）等の状況		個性ある住み良いまちづくりを進める各地区のまちづくり推進協議会の要望に基づき住民と協働でまちづくりを推進している。				国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
事業費		項目 総事業費 事業費 国・県補助金 市（一般） 人件費 正規職員 嘱託職員 臨時職員 合計				単位	実績 H16年度 H17年度 H18年度 H19年度		見込 H19年度	補助金等の性格 3 評価・分析 (CHECK) 4 展開(ACTION)	交付先区分	個人		
						万円	2,038.4 1,679.2 1,996.3 2,049.3		2,049.3		種類別	事業費助成		
						万円	1,790.0 1,432.0 1,753.0 1,806.0		1,806.0		性質	任意的		
						万円			825.6		継続性	有		
						万円	1,790.0 1,432.0 733.8 980.4		980.4		終期設定	平成23年度以降		
						万円	248.4 247.2 243.3 243.3		243.3		評価項目	第1次評価	第2次評価	
						人	0.30 0.30 0.30 0.30		0.30		必要性	A	A	
						人					有効性	A	A	
						人					効率性	A	B	
						人	0.30 0.30 0.30 0.30		0.30		公平性	B	B	
交付先の内容		総事業費 市補助金等 市以外の補助金等 その他 市の補助率・負担率				万円	6,544.3 7,684.2 9,213.0 7,961.0		7,961.0	優先性	A	B		
						万円	1,790.0 1,432.0 1,753.0 1,806.0		1,806.0	総合評価	A	B		
						万円				補助金の終期設定 中町 ~ H21 下町 ~ H23 本町 ~ H22 中央東 ~ H25 18年度から財源に国庫補助及び交付金を取り入れている。				
						万円	4,754.3 6,252.2 7,460.0 6,155.0		6,155.0	展開の方向 拡大 継続 縮小 廃止 休止 統合				
						%	27.4 18.6 19.0 22.7		22.7				地区ごとに補助金の終期設定をし、計画的に実施。	
コスト		単位当たりコスト 市民一人当たりコスト				円								
						円	98 74 87 90		90					
指標		整備割合 対前年度伸び率 整備済件数 対前年度伸び率				%	63.0 67.0 70.0 H18目標達成率		76.2%					
						%	106.3 104.5 H18目標達成率		75.8%					
備考														

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	水めぐりの井戸整備事業	7
-------	-------------	---

事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 23 年度	担当 部課	建設部 まちづくり推進課	課コード	081600
		記入者	土屋	電話	3181

第8次基本計画の位置付け	3	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算 科目	会計	一般会計
	3	ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる		款・項	土木費 都市計画費
	2	自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす		大業	水めぐりの井戸整備事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象 (誰を・何を) 中心市街地 (A = 300ha まちづくり交付金対象区域) 自噴する井戸を計画配置して災害時の生活用水の確保を目的とする。	意図 (どのような状態にしたいのか) 中心市街地に自噴する井戸を新たに整備して、観光資源や市民の水汲み場にするとともに災害時の生活用水を確保するもの。
-------------	-------	---	--

事業内容・計画	内容	整備計画に基づき、安定した水量と十分な水圧、飲用可能な水で災害時に水を持ち運びしやすい場所に新たな井戸を分散配置する。年2力所ずつ計10力所程度整備する。整備後の井戸は、地元の町会等と協定し清掃等の管理をお願いする。	基礎となる計画 3Kプラン危機管理
	市民要望 (ニーズ) 等の状況	市総合計画市民会議で「湧水を活かしたまちづくり」の意見・提言	国・県・民間等における類似事業 根拠法令等

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	整備割合	%	整備力所数 / 整備予定力所数 × 100	90.0
	整備済箇所数	箇所		9.0

2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			必要性	A	A
		総事業費	万円			1,325.4	1,462.4			有効性	A	A
		事業費	万円			1,001.0	1,138.0			効率性	A	B
		国・県補助金	万円				440.0			公平性	A	B
		市 (一般)	万円			631.0	208.0			優先性	A	B
		市 (起債)	万円			370.0	490.0			総合評価	A	B
		その他 ()	万円							その町のシンボルとなり、観光スポットにもなり、危機管理対策と併せ三つの効果が期待できる。		
		減価償却費	万円							展開の方向	展開の手段	
		人件費	万円			324.4	324.4			拡大	委託化	
		正規職員	人			0.40	0.40			継続	市民参加	
		嘱託職員	人							縮小	事業主体の見直し	
		臨時職員	人							廃止	手続きの見直し	
		合計	人			0.40	0.40			休止	業務の見直し	
		事業費に対する収入等の割合	%							統合	規模の見直し	

コスト	整備箇所当たり	箇所			1	2	4 展開 (ACTION)
	単位当たりコスト	円			13,254,000	7,312,000	
	市民一人当たりコスト	円			58	64	
	整備割合	%			10	H18目標達成率	
指標	対前年度伸び率	%		-	-	11.1%	
	整備済箇所数	箇所			1.0	H18目標達成率	
指標	対前年度伸び率	%		-	-	11.1%	

市民協働	配置計画段階と実施段階で地元の町会等と協議、整備後の管理の協定
備考	

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		単独公園整備事業				8						
事業期間		平成 3 年度 ~ 平成 22 年度		担当部課	建設部 公園緑地課	課コード	082300					
第8次基本計画の位置付け		3 安全で安心してゆとりをもって暮らすまち 3 ゆとりある快適な都市環境のまちをつくる 2 自然・歴史・文化資産を活用した魅力ある景観形成をめざす		記入者	山内	電話	1942					
事業の目的		対象（誰を・何を）		予算科目	会計 一般会計 款・項 土木費 大事業 単独公園整備事業費							
事業内容・計画		意図（どういう状態にしたいのか）		松本城公園、城山公園を利用する市民及び観光客 松本城公園を始めた歴史的財産周辺の公園を整備することにより、市民の憩いの場としての利便性の向上、また観光客の満足度を満たすもの。								
事業内容・計画		内 容		基礎となる計画								
事業内容・計画		松本城公園都市計画決定用地の取得及び公園整備 城山公園の老朽化した施設の整備										
事業内容・計画		市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
成果指標活動指標		指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値					
成果指標活動指標		松本城有料入場者数		人	各年度の入場者数		280,000.0					
2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			必要性	A	A
		総事業費	万円	108.3	68.2					有効性	B	B
		事業費	万円	100.0	60.0					効率性	A	B
		(内訳)								公平性	AA	B
		国・県補助金	万円							優先性	C	C
		市（一般）	万円							総合評価	A	B
		市（起債）	万円	100.0	60.0	0.0	0.0			観光地松本の中心的存在として、重要な施設であり、利用者からの整備要望が高い。		
		その他（ ）	万円									
		減価償却費	万円									
		人件費	万円	8.3	8.2							
		職員数										
		正規職員	人	0.01	0.01							
		嘱託職員	人									
		臨時職員	人									
合計	人	0.01	0.01									
事業費に対する収入等の割合	%											
コスト							4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段			
単位当たりコスト	円							拡大		委託化		
市民一人当たりコスト	円	5	3					継続	市民参加			
松本城有料入場者数	人	545,218	533,517	574,556	H18目標達成率			縮小	事業主体の見直し			
対前年度伸び率	%		97.9	107.7	205.2%			廃止	手続きの見直し			
対前年度伸び率	%					H18目標達成率	休止	業務の見直し				
対前年度伸び率	%						統合	規模の見直し				
市民協働	今後松本城公園は周辺の道路計画も含め、総合的整備が必要。また城山公園は年間を通じた利用者の増加を図るため、全体的な再整備も視野に入れ計画。											
備考												